

# インスメッド医療Webinar

気管支拡張症の画像診断・病態評価

座長

今野 哲 先生

北海道大学大学院医学研究院呼吸器内科学教室 教授

講演

田辺 直也 先生

京都大学医学部附属病院呼吸器内科 特定講師

## 『気管支拡張症におけるCT画像解析： 増悪リスクと病態の理解』

日時

2026年6月10日(水) 19:00 ~ 20:00

本Webセミナーは追っかけ再生に対応しております。  
Webセミナー終了前までに視聴を開始されると、追っかけ再生による視聴が可能です。

視聴方法

詳しくは裏面をご確認ください。

気管支 **拡張症** navi (気管支拡張症に関する医療従事者向け情報サイト) <https://www.benavi.jp/>



主催：インスメッド合同会社医療アフェアーズ部


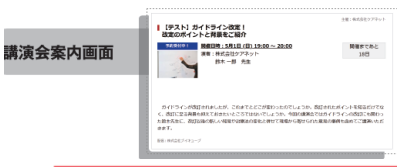
## インスメッドメディカルWebinar

気管支拡張症は永続的な気管支拡張を特徴とし、慢性気道炎症・気道感染・粘液線毛クリアランス異常・肺の破壊からなるvicious vortexが主病態である。好中球炎症が中心的役割を果たし、喀痰中好中球エラスターゼの上昇は増悪・入院リスクと関連する。CT評価にはReiffスコア・BEST-CT・粘液栓スコアが用いられ、粘液栓増加は好中球炎症増強・疾患重症度・緑膿菌定着と関連する。増悪の既往は将来の増悪の最も強い予測因子であり、頻度が高いほど肺機能低下と死亡リスクが上昇する。喘息合併例（EMBARC研究の31%）では緑膿菌定着・頻回増悪が特徴的である。喘息診療において、コントロール不良にも関わらず呼気NO低値・慢性喀痰・反復する細菌感染を認める場合は気管支拡張併存を疑う。COPD合併の診断にはROSE基準が有用であり、併存例はプロテオバクテリア優位・好中球炎症増強など気管支拡張症に近い病態を呈する。気管支拡張診断に至らない慢性気道疾患でも喀痰DPP1高値・好中球炎症が早期の気道拡張形成に関与する可能性が示唆された。管理は気道クリアランス法・長期マクロライド療法を中心とした複合的アプローチが重要である。

## CareNet.comからのご視聴方法

URL


[https://www.carenet.com/insmed\\_260610](https://www.carenet.com/insmed_260610)にアクセスしてください

1  

講演会案内画面

講演会開催時刻に講演会画面にアクセス頂くと講演会をご視聴いただけます

新視登録をご検討の先生へ  
CareNet.comに新規会員登録を頂いた場合、ご視聴いただくまで数日のお時間を頂戴します。講演会当日の直前にご登録いただくと講演会をご覧いただけない場合がございますので、お早めにご登録くださいますようお願い申し上げます。

ご不明な点は・・・  <https://contact.carenet.com>

## CareNet.com会員以外の医師、医師以外の医療従事者の方のご視聴方法

## ① 下記までご連絡ください。

yukako.yamaga@insmed.comまでメールにて開催前日までにご連絡をお願いします。その後、視聴URLをご連絡させていただきます。メールにてご提供いただいた個人情報は、インスメッド合同会社のホームページ記載の「プライバシーポリシー」 (<https://insmed.jp/privacy/>) に則った目的にのみ利用させていただきます。

## ② Web講演会の本番視聴



- 1 視聴URLにアクセスします。
- 2 情報入力を行い「視聴する」ボタンを押下してください。
- 3 視聴画面の「再生」ボタンをクリックします。

補足: 事前視聴確認 Web講演会の前日までに、当日と同じ視聴環境で必ず事前視聴確認を行ってください。

情報入力ページにアクセスし「視聴環境確認」をクリックしてください。速度チェック及び視聴チェックを実施し、不具合がないかご確認ください。